

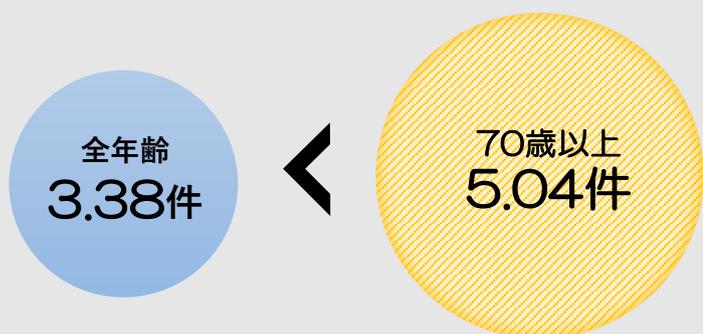
ご存じですか？

ペダル踏み間違い時加速抑制装置が
今お使いのクルマにも
後付け可能になりました！

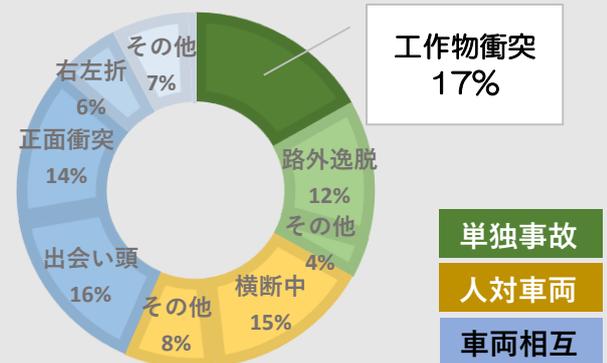


今乗っているお車をより安心して運転するために、一部の安全運転支援システムは後付けすることができるようになりました。また、国や一部の自治体では、ペダル踏み間違い時加速抑制装置の後付け費用を補助する制度が始まるなど、普及促進が図られています。短期間で取付け可能なシステムもあり、安全運転支援システムはより身近になりました。（「後付け安全運転支援装置」の補助金制度についての詳細は、お住まいの自治体のホームページ等をご確認ください。）

自動車の運転に起因した死亡事故件数
(免許保有者10万人当たり・運転者の年齢別)



70歳以上の死亡事故は
工作物衝突による単独事故が最も多い



出展：原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数（令和元年中）（警察庁統計）

上記でご紹介したペダル踏み間違い時加速抑制装置はこのような時に作動します

急発進時

前方・後方に障害物があるとき、誤ってブレーキではなく、アクセルを強く踏んでしまった場合、加速が抑制されます。

低速走行時

駐車のため低速でバックするとき、誤ってアクセルを踏み過ぎてしまった場合、加速が抑制されます。

●運転特性診断のご紹介●

安全な運転を続けていくには、ご紹介した安全運転支援システムの利用のほか、ご自身の運転操作の振り返りが有効です。

一部の損害保険会社では、運転特性の診断サービスを提供しており、ご自身が実際に運転する車で、運転の傾向などを客観的に採点し、改善を促すことで、より安心な運転をサポートしています。

【ご注意】ペダル踏み間違い時加速抑制装置は歩行者を検出して停止するシステムではありません。
(作動条件は個々のシステムによって異なりますので、詳しくはメーカーにお問い合わせください。)



「安全運転支援システムの搭載車」って「自動運転」の車のことですか。安全運転支援システムの搭載車なら、ドライバーは運転操作しなくてもよいのですか。

現在実用化されている車は、完全な自動運転ではなく、運転者が運転操作をするうえで、一定の条件で安全をサポートする機能が搭載された車です。このため、運転者がハンドルを離せば、システムが停止するなど、運転者が運転操作をする前提の仕組みとなっています。



安全運転支援システムの搭載車はどのように見つけばよいですか。

交通事故防止として推奨される車は、安全運転サポート車（セーフティ・サポートカーまたはセーフティ・サポートカーS）のロゴが目印となっています。また、サポカーの安全運転支援システム以外にも、日本損害保険協会のホームページ（下記参照）でご紹介しているシステムなど、次々と実用化されていますので、詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。



安全運転支援システムは、各自動車メーカーから色々な名称で販売されていますが、同じ機能ですか。

同じ機能であっても、例えば、衝突被害軽減ブレーキの場合、メーカーや仕様によって次のような違いなどがあります。また、天候などの条件によっても、制限があります。

- (1) 同じスピードで走ったときにシステムが作動してから止まるまでの制動距離の違い
- (2) 低速域で作動するもの・作動しないものの違い



安全運転支援システム搭載車は、保険料が割引されるのですか。

安全運転支援システムのうち、衝突被害軽減ブレーキ（AEB）は、一定の条件を満たす場合に、割引が適用されることがあります。

詳しくは、保険会社または代理店にお問い合わせください。



安全運転支援システムが普及すれば、保険は加入しなくても大丈夫ですか。

自動運転の普及により事故の減少が期待されますが、現在普及が進んでいる安全運転支援システム搭載車でも、事故は発生しています。このため、安全運転支援システムが普及したとしても、万一の事故の際の損害賠償に備えるため、また、搭乗者やご自身のお車を守るため、保険の加入が必要と考えられます。

今後、自動運転のレベルがさらに高度化すれば、今より格段に安全なクルマ社会が実現すると考えられています。損害保険業界では、これらの変化を見極め、必要な補償やサービスを提供することで、新技術普及をサポートします。



自動運転や安全運転支援システムについて更に詳しく知りたい方は、日本損害保険協会ホームページ（www.sonpo.or.jp）の特設ページをご覧ください。